

あすなろ

静岡県伊豆市小下田 2492 駿豆学園 令和3年9月30日 231号
TEL0558-99-0248・FAX99-0258



＊楽しかった＊
夏の思い出

秋の気配

園長 天良 昭彦

九月に入り、残暑と秋らしい涼しさが日ごとに入れ替わりながら、彼岸を過ぎ心地良い季節に向かっていきます。コロナ禍は第五波となり緊急

事態宣言の真っ只中。今年度は少しでも収束に向かってくれればと思っています。現在も、ご家族や施設外部の方々との接点を控えていただく状況が続いているので「あすなろ」は利用者の皆さんの様子がご覧になれるよう、写真を多く編集しお送りします。

利用者と職員のワクチン接種は、伊豆市のご理解と土肥クリニックのご協力により、職員は土肥クリニックにおいて、利用者は学園内で計画的に実施していただき、八月二十七日をもって完了しました。

ここまでの行事は、県の警戒レベルや近隣市町の感染状況に応じ判断しながらも、原則中止はせず例年通りとはいきませんが、新生活様式を意識し代替的な企画を利用者と職員のみで実施して参りました。

運動会は三グループに分け、日を

変え、旧土肥小学校の体育館をお借りし広い空間で思いきり身体を動かしました。

ステイホームが叫ばれている中、リフレッシュツアーや外出は遠出や外食を控え、テイクアウトを活用しバラエティーに富んだ思い思いの食事を楽しんでいます。

納涼祭は昼間に実施しました。小グループごとに待機室を設け、時差をつけながら食堂で二年ぶりに模擬店を満喫し、訓練棟で盆踊りを楽しみました。また、後日天候の良い日を選び、ナイヤガラやドラゴンといったグラウンドで楽しめる花火を行い、夏の夜の風物詩を味わいました。

本来どの行事も、地域やボランティアの皆様、ご家族との交流の場として長年積み重ねてきた大変貴重な時間であり、それを閉ざさなければならぬ現状を大いに危惧しています。コロナ収束後の生活様式が完全には従来の形に戻せなかった場合、地域との交流も新たな在り方を考えるなければならぬのでしょうか。

秋の気配の中、季節感を味わえるような企画や支援を心がけつつ、その先に訪れるインフルエンザのシーズンへの備えも怠らずに取り組みたいと思います。

半年が過ぎて

支援課長 青木 あけみ

コロナ過での生活も二年目の夏が過ぎ朝夕が過ごしやすくなってきました。利用者の今の日中活動の様子を紹介します。

緊急事態宣言前は密を避け、大好きなドライブを楽しみ、海岸や公園でお弁当を食べていました。海の景色は日常的に見ていますが、やはり気持ちが良いものです。お弁当は食べ切れるのかと心配する程のボリュームもペロリと完食です。宣言中は外出を控え、施設内で食べていますが、大きなイチゴ大福やマリトッツォ等のスイーツも好評でした。

作業班の「大地」は現在体力維持の為、歩行中心に活動しています。「あおぞら」は歩行活動に加えゲームやダンス等を多く取り入れ、フォークダンスやバラバラ（懐かしいです）にも挑戦しています。

クラブ活動（音楽、美術、スポーツ、おやつ）は、小グループでの活動を継続して行っています。

今年度も一昨年までとは違う生活ですが、利用者は穏やかに日々を過ごしています。

静岡災害派遣チーム(DWAT)

生活支援員 藤井 優

令和三年七月三日、熱海市伊豆山地区を襲った大規模土砂災害。多くの方が避難所生活を余儀なくされる事となりました。避難所等で福祉・介護の専門的な視点で支援活動を行う為、チームの一員として熱海へ三日間派遣されました。

災害時に災害弱者になりやすいのは、高齢者・障害のある方・妊婦・乳幼児など他の方の支援を必要とする方たちです。その方たちが抱えている困難やニーズを引き出し、相談に乗り、解決していくプロセスを他の専門職の方と一緒に行政にアプローチしていききました。それにより避難者の方が少しでも安心し、不安が減り、元の生活に戻る活力になれば良いと思います。三日間でしたが貴重な体験ができました。



健康体操の様子



今年の運動会は、土肥社会体育館にて
3つのグループが日を分けて行ないました。
※3グループは9月の予定でしたが、
緊急事態宣言延長に伴い、延期となりました。
後日活動予定です。

ミニミニ 運動会





納涼祭



3グループに分かれ
ソーシャルディスタンスを
保ち楽しいお食事タイム



食後はみんなそろって盆踊り



リフレッシュ ツアー

中伊豆方面へドライブをして、奥野ダムでお弁当の予定でしたが、
近隣地域にてコロナ感染者増加により、
急遽、予定変更し、ドライブ後に学園にてお弁当を食べました。



『中伊豆リハビリテーションセンターあゆみ』さまのお弁当は
ボリュームあって、おいしかったよ！

パラリンピック聖火採火式

生活支援員 梅田 綾乃

八月十六日、伊豆市にて東京2020パラリンピック聖火採火式が、行われました。

市内の社会福祉団体・事業所の代表十名が、「キャンドルナイト・イン・修善寺温泉」の火を採火棒で一つにまとめ、ランタンに納めました。

駿豆学園からは、杉山恵子さんが参加してきました。少し緊張気味の杉山さんでしたが、無事に式を終えて、ほっとした表情が印象的でした。



東京2020パラリンピック聖火採火式

駿豆学園防災訓練

生活支援員 大木 章敬

令和三年九月一日に、駿河湾で地震が発生した場合を想定した、応急対策地震防災訓練を行いました。訓練を通し、職員の非常時の連係の確認や利用者の防災意識の高揚につながったと思います。

近年地震だけではなく、人命を脅かす自然災害が多数発生しています。それら災害から、利用者の安全を守る為、災害に対する知識を深めて、訓練を行い備えていきます。



地震防災訓練

新型コロナワクチン接種



無事に2回目も終了しました



ふれあい広場

―善意を寄せられた方々―

- 伊豆市花の会土肥支部様
- 内田千鶴子様 ○新田共栄様
- 八百康商店様
- (株)ナリコエンタープライズ様
- JA伊豆の国LPG事業所様
- セブンイレブン伊豆市土肥店様

皆様のご厚意に御礼申し上げます

【お知らせ】

面会をご希望の方は、事前に電話にてご確認ください。パソコン等を利用したりモートでの面会も実施しております。

駿豆学園ホームページでもあすなろを閲覧出来るようになっていきます。

アドレスは

www.sunzugakuen.jp/になります。

ぜひ御覧ください。

編集後記

猛暑、自然災害、コロナウイルス蔓延の中でしたが、オリ・パラの明るい話題に、励まされた夏でした。過ぎやすい季節になりますが、感染対策に気を引き締め、利用者さんが、安心した日々を送れるよう支援していきたいと思っています。